



暮らしを支える 公共交通

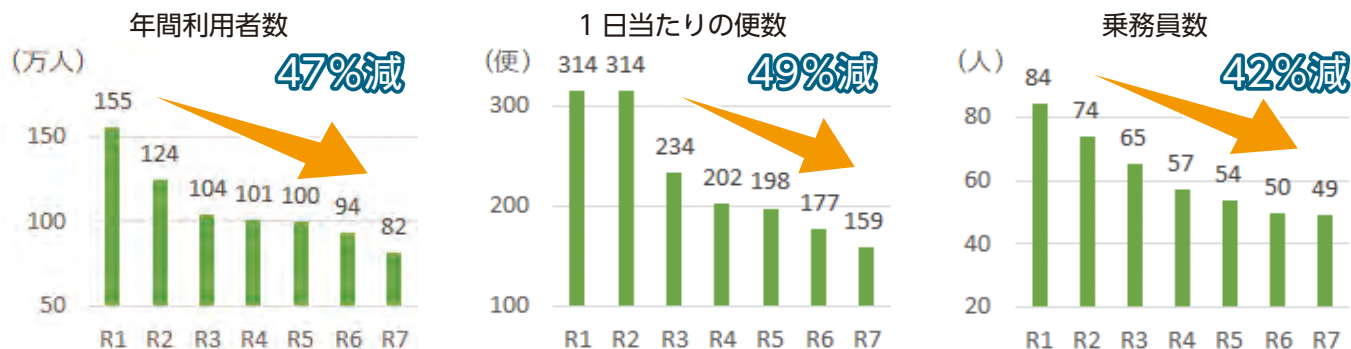
「自家用車があるから公共交通がなくても大丈夫」と思っていませんか。若い世代の方は、これからも長く自家用車に乗れるかもしれませんが。しかしこの先、親が免許を返納したら、こどもが自転車を通えない距離の学校に進学したら、そのときに鉄道や路線バス、タクシーなどがなかったらどうでしょうか。

公共交通は、これからも皆さんの暮らしを支える必要不可欠な存在です。

今月は、地域の足を維持する第一歩として、路線バスの現状と、今、私たちにできることを紹介します。

問合先 企画室 ☎ 35-4834

市内の路線バスの変化



利用者の減少に伴い収支が悪化し、路線が減便となっています。減便により利用者がさらに減少しているほか、乗務員不足もあり、便数の確保が困難になっています

みなさんの声を聞きました

〓岩見沢市の公共交通に関するアンケート調査（令和7年度）、の結果では…

路線バスがなくなった場合、自分や家族の生活に影響があると答えた方

69%



路線バスにほとんど乗っていないと答えた方

70%

【主な理由】
自分や家族が運転できる

月1回から毎日乗っていると答えた方

27%

【主な目的】
通院、買物、通学、通勤



〓路線バスがなくなったら生活に影響がある、と答えた方は多いですが、利用に至っていません

今、私たちにできること

路線バスを残していくためには、一人一人が利用することが何より重要です。



できることから始めてみましょう！

月に1回
乗ってみる

市街地などへの
お出かけに

バス利用
の声掛け

家族や知人に
利用を勧める

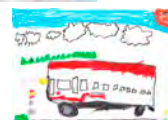
〓乗務員、になってみませんか

バス乗務員は大型二種免許が必要ですが、資格取得支援制度を導入している事業者もあります。

公共交通を支える取り組み

バスの日特別企画

9月20日(日)のバスの日に合わせて、約1カ月間小学生が描いた絵が、北海道中央バスの車内を彩ります。この機会にぜひ乗車してみませんか。



幌向地区内の予約型乗合タクシー実証運行

幌向地区内の自宅と幌向駅などの目的地を結ぶ予約型乗合タクシーの実証運行を10月1日(木)から開始します。利用方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



ID:17650